

		◇	◇	◇			
教職員の資質向上	○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、研究授業・指導法を共有している。教員の年齢層もさまざまであるため、キャリアに応じた授業力が求められている。□教育公務員として、信頼される教職員であるため、言動への責任を持って教育活動を実施しており、そのための研修も行っている。	○生徒が自分の進路実現のため、主体的に学びに向かうことができる授業体制を確立する。	○教科部会を中心に、指導法の検討、教科を超えての授業参観の実施、研究授業等を実施していく。	○教職員が授業力の向上のため、キャリアに応じた自己研鑽を行うとともに、教科部会等で指導法を検討した。	B	・それぞれの教職員のキャリアに応じた授業力向上に向け、教育委員会とも更なる連携を行い、指導力を向上させていく。 ・教育公務員としての自覚を常に意識させるよう、今後も研修等を実施していく。	・特になし
		□生徒・保護者・地域から信頼される教職員集団を形成する。	□服務を意識させるとともに、指導と見届けを繰り返し行う。定期的な研修を実践していく。	□教職員事故を起こさない意識は常に意識できていた。	B		・特になし
		◇	◇	◇			・
施設・設備等の管理	○校内の安全点検を定期的実施しており、修繕が必要な箇所については、予算の範囲内で、早期対応で補修している。□校舎の老朽化により、大規模な修繕が必要な箇所もある。学校だけでは対応できない部分もあり、教育委員会と連携し、修繕していく必要がある。	○生徒がケガ等をする事のない、安全な教育環境を整備していく。	○毎日の見回りや、月に1度の定期的な安全点検を行い、危険箇所や破損箇所の早期の補修を行っていく。	○定期的な点検の実施により、計画定期的な修繕を行った。	A	・今後も施設設備の事故0を目指す。修繕が必要な箇所については、優先順位を確認しながら引き続き行っていく。 ・老朽化した箇所については、今後も教育委員会と連携し、対応していきたい。	・特になし
		□学校生活のみならず、災害時の避難場所としての機能が十分発揮できる施設にしていく。	□関係機関による定期点検結果をもとに、教育活動の場や避難所として、安心・安全な場所となるよう教育委員会と連携し修繕していく。	□避難所開設マニュアルの見直しを行った。教育委員会とは、随時、連絡を取り合っている。	B		・特になし
		◇	◇	◇			・